



無作為オンラインパネル『PbOPSS-23』のご登録者の皆様へ 2024年アンケートの結果速報

PbOPSS-23

無作為オンラインパネル

2024年7月

拝啓 梅雨も多くの地域で本格化してまいりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。この時期、大学では前期の期末テストにそなえて熱心に勉強する学生の姿がおおく見られています。

無作為オンラインパネル PbOPSS-23にご登録されているみなさんには、今年2月に第2回目となる「デジタル社会化とメディア活用についてのアンケート」をお願いいたしました。お忙しいなか、ご協力いただき誠にありがとうございました。1月に発生した令和6年能登半島地震の状況をかながみて、影響の大きかった地域にお住まいのみなさんには、わたくしどもの判断で第2回目の調査およびPbOPSS-23通信の第3号と第4号の郵送を控えさせていただきました。いまだご不安な状況が続いている方もいらっしゃるかと思いますが、この PbOPSS-23 通信第5号から郵送を再開させていただきました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

今回のPbOPSS-23通信 第5号では、第2回目の調査「デジタル社会化とメディア活用についてのアンケート」の速報結果をお伝えいたします。今後も、4~5ヶ月に一度くらいの PbOPSS-23 通信をお送りする予定です。また、本調査研究は2026年度(2027年3月)まで続きます。長期に渡りますが、よろしくお願いいたします。

末筆となりましたが、令和6年能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申しあげるとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

皆様の個人情報につきましては、プライバシーマークを取得している専門調査会社のサーベイリサーチセンターのみが登録者名簿を厳重に管理し、わたくしども研究者は皆様のご住所、お名前、メールアドレスは所持しておりません。この通信も、わたくしども研究者が作成したあと調査会社に送付を委託してお届けします。ですので、住所やメールアドレスなどご連絡先の変更は、下記のサーベイリサーチセンターの受付窓口にご連絡下さい。

ご連絡先変更などの受付窓口

株式会社サーベイリサーチセンター 調査事務局 <https://www.surece.co.jp/>
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-5 KDX 日本橋 313ビル 6F 担当: 土屋・阿部・西浦・生島
フリーダイヤル 0120-366-354 (平日9時~18時・土日祝祭日を除く)
メールアドレス ochakenkyu@surece.co.jp

研究プロジェクト

研究代表者: 杉野 勇(お茶の水女子大学)
研究分担者: 尾嶋 史章(同志社大学)、 歸山 亜紀(群馬県立女子大学)、
小林 大祐(金沢大学)、 轟 亮(金沢大学)、 平沢 和司(北海道大学)

研究プロジェクトのウェブページでは、結果の報告など随時情報を更新しています。
URL:<https://www.li.ocha.ac.jp/ug/hss/socio/sugino/PbOPSS23/>



調査結果:速報 2024年1月23日時点で PbOPSS-23パネルに登録中の1,003人の方のうち、令和6年能登半島地震の影響が大きかった地域にお住まいの方を除いた945人を対象に、PbOPSS-23パネル第2回調査「デジタル社会化とメディア活用についてのアンケート」をお願いし、739人の方からご回答いただきました（ウェブ回答は655人、紙回答は84人でした）。紙の調査票で回答いただいた方につきましては、調査後の処理が完了していませんので、ここでは速報としてウェブ回答の方の回答について集計したものを紹介いたします。今後、紙調査票の処理が完了してデータに変われば、この通信に記載の結果から多少変わる可能性がありますのでご注意ください。

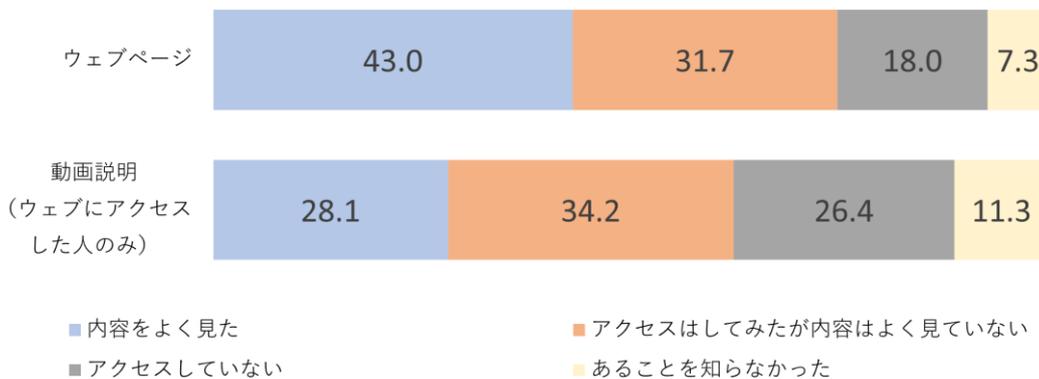
〔PbOPSS-23 パネルについての情報をどれくらい見ていただけたか〕

社会調査では、対象となるみなさんに調査についてなるべくよく理解していただき、多くの方々にご協力いただくことが大切です。こうした思いから第2回調査では、このPbOPSS-23パネルやわたくしどもの研究プロジェクトについてのさまざまな情報を、みなさんにどれくらいお届けできているかについて、いくつかの質問をして回答いただきました。ここではまずこれらの回答の集計結果について紹介いたします。

○ウェブページ

まずこの調査プロジェクト（PbOPSS-23）への参加依頼が届いたときに「この調査プロジェクトのウェブページ」をご覧になったかどうかからみていきましょう。図1に示したとおり、7割以上の方が閲覧されたことがわかります。閲覧したかどうかには、性別や年齢層による違いは大きくありませんでした。ただ40代、50代の男性と60代の女性で「内容をよく見た」という方が、多くなっていました。

図1 調査説明のウェブページ （数値は%）

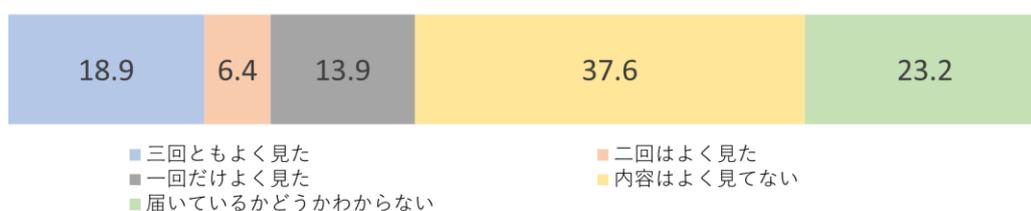


ウェブページには、このプロジェクトの代表の説明動画を組み込んでありますが、この動画の視聴状況はどうか。ウェブページにアクセスした方々だけに絞って、その割合をみてみましょう。このページにアクセスした方の中で動画にもアクセスしたのは約6割、そのうち内容までよく見た方は、3割弱です。男女とも、60歳以上の方で動画の内容をよく見た方が多いのですが、それでもこのウェブページにアクセスした人の3人に1人程度です。したがって、調査に回答していただいた方全体の中でこの動画を「よく見た」とお答えいただいた方は、5人に1人程度になります。

○定期通信

では、この「PbOPSS-23通信」に関してはどうでしょうか。今回で第5号となり、前回の調査以降は集計結果を載せた通信を3回お送りしています。3回とも内容をよく見たという方は2割程度です。ただし、1回はよく見た、2回はよく見たという方を合わせると4割程度で、調査結果にも関心を持っていただいているようです。決して多いとは言えませんが、丁寧に読んでいただいている方の存在は、この通信を作成する私たちの励みになる結果です。

図2 定期通信を読んだ回数 (数値は%)



【デジタル社会化に対する期待と不安】

さて、第2回調査のメインテーマである、デジタル化社会の問題に目を転じてみましょう。

○マイナンバー制度

今年の12月から従来の健康保険証が廃止され、マイナンバーカードの保険証に移行しますが、マイナンバー制度に対してのみなさんのご意見を集約したのが図3です。今回の調査では「マイナンバー制度は、これからの社会になくしてはならない」と「マイナンバー制度で、個人情報の漏えいや不正利用の被害にあうおそれが高くなる」という2つの側面を評価してもらいました。これをみると「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な意見が約半数の52%を占めていますが、「どちらともいえないが」27%と4人に1人、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」という否定的な意見も合わせて18%程度みられ、マイナンバー制度が広く受け入れられているとはまだ言えないようです。一方、マイナンバー制度の導入による不安も広く見られます。個人情報の漏洩や不正利用の被害という点に関してはかなり多くの方が、「懸念」を示しておられます。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という意見は合わせて73%となり、実に4人に3人の方が懸念を抱いておられます。これに対する否定的な意見はわずか8%しかありません。

図3 マイナンバー制度に対する意見 (数値は%)

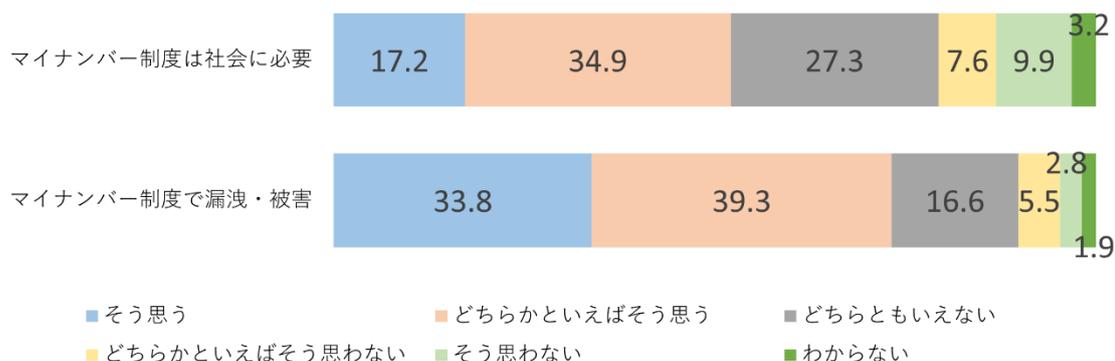
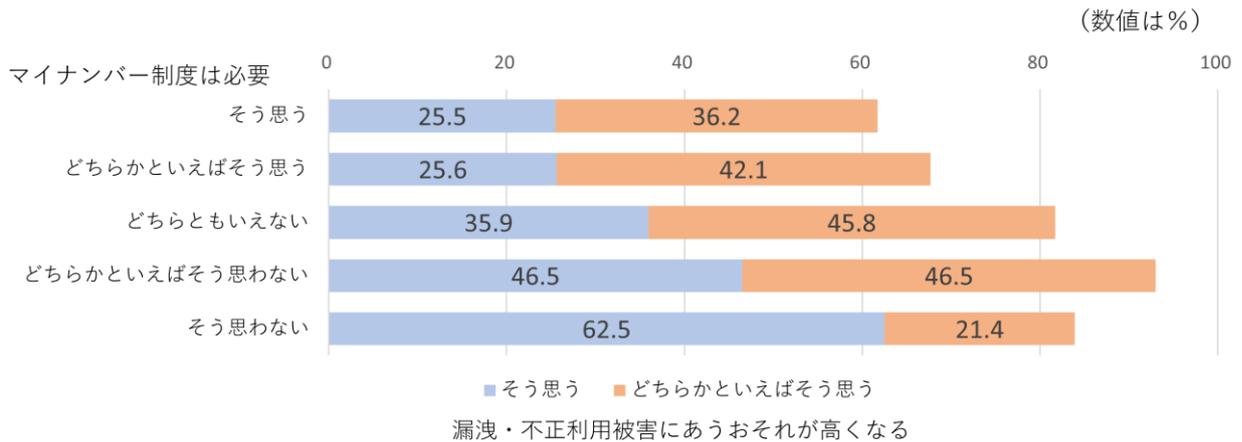


図4 マイナンバー制度の必要性評価別にみた個人情報の漏えい・不正利用被害への懸念

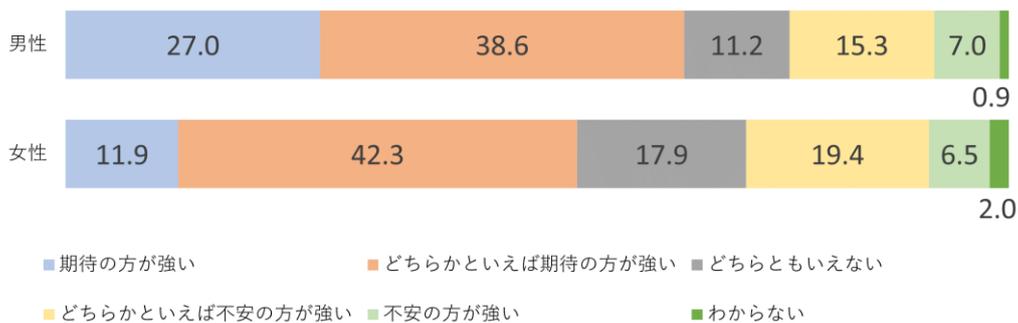


さらに、この2つの意見の関係をみたのが、図4です。確かにマイナンバー制度に肯定的な方ほど「不安」に思っている方は少ないのですが、必要だと思うという最も肯定的な方たちでさえ、6割以上の方が「不安」と答えているのです。まだマイナンバー制度が社会に十分受け入れられてない証左といえるでしょう。

○自動運転システム

マイナンバー制度と並んで、デジタル社会を象徴するものに自動車の自動運転システムがあります。これに対する期待を尋ねると、男性では3分の2が、女性でも半数以上の方が期待していることがわかります。マイナンバー制度よりは肯定的な意見が全体としては多くなっています。この質問は、全体の3分の2の方には期待するか不安かの選択肢で尋ねていますが、残りの3分の1の方には「期待や不安」に関して自由に意見を記入してもらっています。

図5 自動運転に対する期待と不安 (数値は%)



ここに記載された意見を見ると「期待としては、公共交通があまり盛んではない地方における移動手段の確立がある程度、なされること。不安としては、自動運転であっても事故を起こす可能性はゼロではないので、その時の責任は誰が取るのかという点。」(20代男性)「近い将来自動運転が人よりも安全になると思います(特に高齢者)。しかしながら自動運転車普及するためには価格など解決すべき課題が多くあると思います。」(60代男性)「海外での事故の情報を見ると不安である。只自身が高齢となり、私の地域は田舎で、買い物に行く手段が車しかないため、今後は自動運転技術の普及に期待します。」(60代女性)というように、期待と同時に不安を抱えていらっしゃるということがわかります。「期待」か「不安」か、という選択肢で尋ねる質問の限界も、この調査からはみえてくるのです。